

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月07日

計画の名称	多治見市における循環のみちの実現（防災・安全）														
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	多治見市														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		716	A	716	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	地域防災計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレの設置率を88%（H27）から100%（H31）に増加する。			
	地域防災計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレの設置率	88%	100%	100%
	マンホールトイレ設置済み数（箇所） / マンホールトイレを設置すべき数（17箇所）			
2	長寿命化計画に基づく管渠の長寿命化整備率を15%（H27）から100%（H31）に増加させる。			
	長寿命化計画に基づく管渠の長寿命化整備率	15%	100%	100%
	当該整備延長（km） / 全体計画延長（1.9km）			
3	長寿命化計画に基づくマンホールポンプの長寿命化整備率を0%（H27）から100%（H31）に増加させる。			
	長寿命化計画に基づく管渠の長寿命化整備率	0%	25%	100%
	当該整備数（箇所） / 全体計画数（8箇所）			
4	ストックマネジメント計画策定率を0%（H27）から100%（H31）に増加させる。			
	ストックマネジメント計画策定率	0%	0%	100%
	ストックマネジメント計画策定済み計画数（箇所） / スtockマネジメント計画を策定すべき計画数（箇所）			
5	災害時における池田下水処理場等水処理施設の機能確保を22.2%（H26）から44.4%（H31）に増加させる。			
	災害時における池田下水処理場の水処理施設の機能確保率	22%	22%	44%
	水処理施設のうち耐震化された水処理施設 / 全水処理施設			
6	重要な管渠の地震対策実施率を73.9%（H26）から80.9%（H31）に増加させる。			
	重要な管渠の地震対策実施率	73%	76%	80%
	重要な管路のうち、耐震化または減災対策が行われている延長（km） / 重要な管渠の延長（km）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		H27 H28 H29 H30 H31																	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	-	新設	マンホールトイレ設置（ 地震対策）	マンホールトイレ N=2箇所	多治見市	■	■	■	■	■	22		策定済
	A07-002	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	管渠（ 汚水）	改築	長寿命化管渠更新（長寿 命化・管渠）	管渠延長L=1.5km	多治見市	■	■	■	■	■	399		策定済
	A07-003	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	管渠（ 汚水）	改築	長寿命化ポンプ更新（長 寿命化・マンホールポン プ）	マンホールポンプN=8ヶ所	多治見市	■	■	■	■	■	78		策定済
	A07-004	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	管渠（ 汚水）	改築	長寿命化調査・設計（長 寿命化・管渠）	計画・調査・設計	多治見市				■	■	68		策定済
	A07-005	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	-	-	ストックマネジメント計 画策定	計画・調査・設計	多治見市			■	■		24		-
	A07-006	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	ポン プ 場	改築	長寿命化処理場更新	池田下水処理場長寿命化工事	多治見市					■	93		策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	終末処 理場	改築	池田下水処理場他(地震対 策)	池田処理場耐震対策N=8施設 下沢ポンプ場耐震対策N=1 施設	多治見市				■	■	15		策定済
	A07-008	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	管渠（ 汚水）	改築	中央幹線および面整備管 （地震対策）	管更生L=4km 水管橋N=6力所 浮上防止N=5力所 可とう 継手N=2力所	多治見市					■	17		策定済
											小計						716		
											合計						716		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

多治見市にて実施。

事後評価の実施時期

令和3年5月

公表の方法

多治見市公式ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

長寿命化計画に基づく下水道施設の更新により、良好な下水道サービス提供に寄与した。
処理場施設の耐震補強を実施したことにより、地震に対する安全性が向上した。
マンホールトイレを整備したことにより、災害時においてトイレの使用が可能となり衛生的環境の確保に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、計画的かつ効率的に下水道整備を進めていき、一人でも多くの市民が安全・安心かつ快適な日常生活が実現できるように、事業を進めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	避難所におけるマンホールトイレを増加させる。		
	最 終 目標値	100%	目標達成
	最 終 実績値	100%	
2	管渠の長寿命化整備率を増加させる。		
	最 終 目標値	100%	長寿命化計画に基づく管渠のうち、幹線の長寿命化は完了。平成30年度に長寿命化計画からストックマネジメント計画へ移行し方針を変更したことで、対象エリアの継続的な整備ができなかったため目標には達しなかった。
	最 終 実績値	65%	
3	マンホールポンプの長寿命化率を増加させる。		
	最 終 目標値	100%	目標達成
	最 終 実績値	100%	
4	ストックマネジメント計画策定率を増加させる。		
	最 終 目標値	100%	目標達成
	最 終 実績値	100%	
5	水処理施設の機能確保率を増加させる。		
	最 終 目標値	44%	目標達成
	最 終 実績値	56%	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	重要な管渠の地震対策実施率を増加させる。		
	最 終 目標値	80%	目標達成
	最 終 実績値	81%	